

発行日: 2024-11-11

バージョン 1

## 1: 化学品及び会社情報

製品名	Senescence $\beta$ -Galactosidase Activity Assay Kit (Fluorescence, Plate-Based)
製品番号	23833
キット構成要素	91029: Senescence 1X Cell Lysis Buffer 66008: Senescence Stop Solution 78494: Senescence 2X Reaction Buffer 45954: SA- $\beta$ -Gal Substrate

### 安全データシートの提供者の詳細

#### 製造業者

Cell Signaling Technology  
3 Trask Lane  
Danvers, MA 01923  
United States  
電話 +1 978 867 2300  
ファックス +1 978 867 2400  
メールアドレス

#### 販売業社

CSTジャパン株式会社  
東京都千代田区内神田1-6-10  
笠原ビルディング10階 〒101-0047  
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

### 化学薬品の推奨用途および使用制限

推奨用途及び使用上の制限 ライフサイエンス研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

### GHS - 分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分 2

### ラベル要素



### 注意喚起語

警告

### 危険有害性情報

H319 - 強い眼刺激

### 注意書き

#### 安全対策

取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。眼/顔面用保護具を着用する。

#### 対応

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

### 3. 組成及び成分情報

キット 構成要素		66008: Senescence Stop Solution		
化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
炭酸ナトリウム	<5	(1)-164	(1)-164	497-19-8

キット 構成要素

91029: Senescence 1X Cell Lysis Buffer  
78494: Senescence 2X Reaction Buffer  
45954: SA- $\beta$ -Gal Substrate

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

### 4. 応急措置

吸入した場合	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。炎症が続く場合は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。刺激が続く場合、医師を呼ぶ。
飲み込んだ場合	水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。
予想される急性症状及び遅発性症状 医師に対する特別な注意事項	眼刺激 症状に応じて治療すること

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。 二酸化炭素(CO <sub>2</sub> ) 水噴霧 粉末消火剤 耐アルコール泡消火剤
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある。
危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	人員を安全な区域に避難させること。保護具を使用する。適切な保護衣を着用している場合を除き、損傷した容器や漏出物には触らないこと。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。十分換気されているか確認すること。粉じんの形成を避けること。
緊急措置	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	詳細情報については項目12を参照。

封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	不活性吸収剤で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。汚染された表面を十分に浄化すること。粉じんの形成を避けること。
二次災害の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を着用する。粉じんの形成を避けること。蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。十分換気されているか確認すること。
----------	---

### 保管

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
------	-------------------------------

## 8. ばく露防止及び保護措置

技術的対策	シャワー 洗眼ステーション 換気システム
ばく露ガイドライン	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的職業性ばく露限界値	該当しない
環境ばく露防止	情報なし
個人用保護具	
呼吸用保護具	換気が不十分な場合には呼吸用保護具を着用すること。
手の保護	不浸透性手袋
眼/顔面の保護	サイドシールド付き安全眼鏡
皮膚および身体の保護	適切な保護衣を着用する

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

キット構成要素	<b>91029: Senescence 1X Cell Lysis Buffer</b>
物理的状态	液体
外観	透明
色	無色
pH	6.0
キット構成要素	<b>66008: Senescence Stop Solution</b>
物理的状态	液体
外観	透明
色	無色
pH	11.1

キット構成要素	<b>78494: Senescence 2X Reaction Buffer</b>
物理的状态	液体
外観	透明
色	無色
pH	6.0

キット構成要素	<b>45954: SA-<math>\beta</math>-Gal Substrate</b>
物理的状态	固体
外観	粉末
色	白色

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない
避けるべき条件	情報なし
混触危険生成物	強力な酸化剤
危険有害な分解生成物	熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある 二酸化炭素

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 成分情報

化学物質名	LD50 経口	LD50 皮膚	LC50 吸入
炭酸ナトリウム	= 4090 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	= 2300 mg/m <sup>3</sup> (Rat) 2 h

症状 眼刺激。

#### 製品情報

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐蝕性/刺激性 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

#### 眼に対する重篤な損傷/刺激性

キット構成要素	<b>66008: Senescence Stop Solution</b>
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性	刺激を生じるおそれ

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 情報なし

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

キット構成要素	<b>66008: Senescence Stop Solution</b>
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	眼を刺激する

呼吸器感作性または皮膚感作性 情報なし



## 労働安全衛生法

化学物質名	区分	含有率 %
炭酸ナトリウム 497-19-8	安衛法表示対象物質 (令和7年 4月1日以降) / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に 基づく 不浸透性の保護具等の使用義務 物質	<5

## 16: その他の情報

発行日: 2024-11-11

改訂記録 SDSの余白にある記号(\*)は、その行が改訂されたことを示す。

## 安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA:	時間加重平均値	Ceiling:	最大限值:
*	皮膚兆候	+	感作物質

## 本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)  
 米国環境保護庁ChemViewデータベース  
 欧州化学品局  
 欧州食品安全機関(EFSA)  
 EPA (環境保護庁)  
 急性暴露ガイドラインレベル(AEGL)  
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
 米国環境保護庁高生産量化学物質  
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
 危険有害性物質データベース  
 国際統一化学情報データベース(IUCLID)  
 日本GHS分類  
 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)  
 NIOSH(国立労働安全衛生研究所)  
 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)  
 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)  
 米国国家毒性プログラム(NTP)  
 ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)  
 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
 RTECS (化学物質毒性データ総覧)  
 世界保健機構

## 免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終